

指標

- ・講演会 参加者数
- ・がん知識理解度アンケート
- ・講演会満足度調査
- ・コンテスト応募率
- ・市町村別検診受診率

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】あるべき姿： 県民全員ががんの予防、検診、治療に関する一般知識をもち、がんになった時に適切な判断、行動することを目指す。

中期目標(2年)平成24年度までにメディア、教育機関、各自治体、企業を通じて、一般市民ががんについての正しい情報を得られるような環境整備が整っている

最終目標(7年後)：一般市民ががんに関する基本的な知識を持ち、がんになったときに適切な判断、行動することができる

指標	測定方法	指標	測定方法
		(中期目標と同じ)	

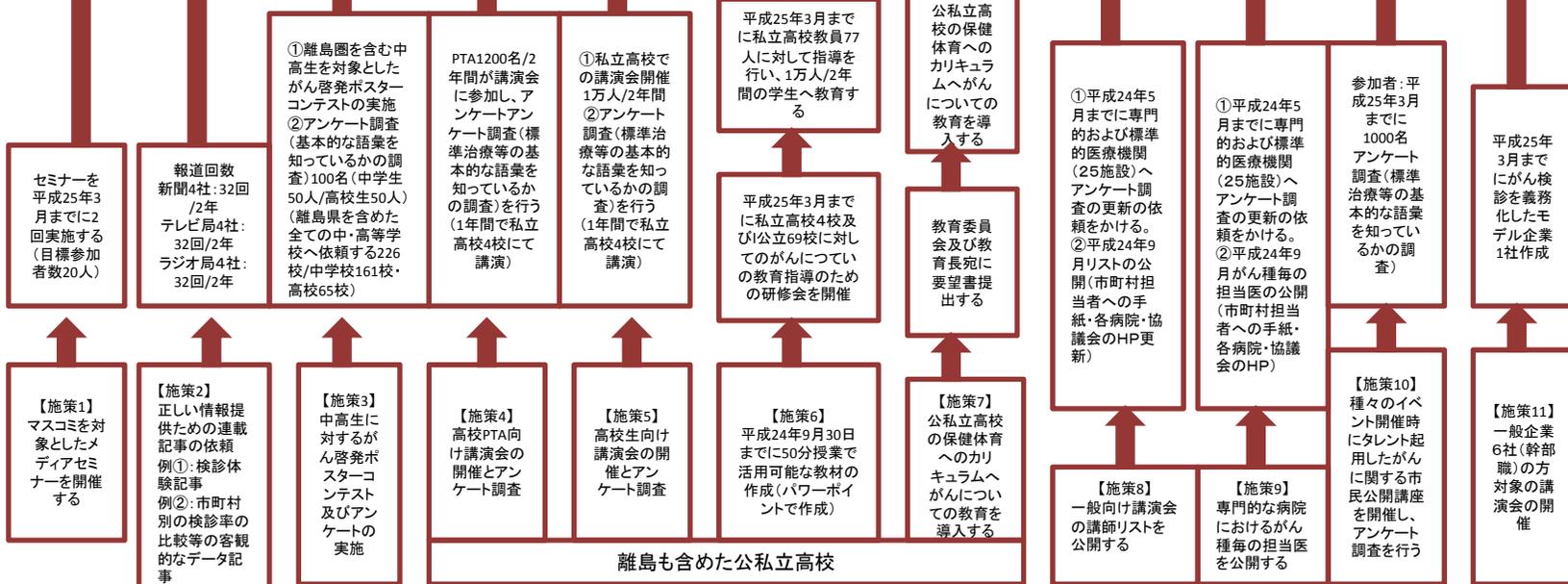
5

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】 県民が定期的ながん情報を得ることができる	【アウトカム目標2】 学生のがんに関する知識・関心が向上する	【アウトカム目標3】 学校教育へがんに関する教育の導入、校内での自主的がん講演会の開催(学生向け、OTA向けの定期開催)	【アウトカム目標4】 各市町村主催の市民公開講座の開催によりがん検診率が向上する	【アウトカム目標5】 職場検診受診率の向上
------------------------------------	-----------------------------------	---	---	--------------------------

ステップ4

施策毎のアウトプット目標



施策アクションプラン

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目1】 県内メディアへ通じての正しいがん情報の提供	【対策項目2】 学校教育機関またはPTAを媒体としたがん啓発活動	【対策項目3】 一般市民に対しての正しい情報の提供を行なう	【対策項目4】 職場の理解・企業での検診の義務強化
----------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------	------------------------------